令和７年４月９日

学 校 長 殿
社会科（地歴・公民科）主任　殿

神奈川県高等学校教科研究会会長（代行）　岡野 正之
（県立相模原中等教育学校校長）
同 社 会 科 部 会 長　藤元　貴嗣
（県立川和高等学校校長）
同 社会科部会理事長　三橋　健彦
同 社会科部会歴史分科会長(代行)　神田　基成
（公印省略）

第62回　夏季県外史跡踏査のご案内

陽春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から当部会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の夏季県外史跡踏査を次のとおり実施いたします。踏査地の諏訪から釜無川流域にかけての地域は、縄文時代から豊かな自然環境と天然資源をもとに、日本の東西南北を結ぶ十字路として栄えました。記紀の国譲り神話で有名な諏訪大社の信仰は、中世鎌倉時代から戦国期まで生き神として尊崇された大祝諏訪氏の活動を通じ、戦国武田氏や中央政権に大きな影響を与えました。また、釜無川流域の扇状地や台地には、南アルプスを水源とする天然水を活用した産業がいまも栄えます。

本踏査は、長年にわたり現地で郷土史研究に携わる講師からその成果を学び、「高校生たちが自ら考え行動する力」を育む探究的な授業の方法について研修する機会として企画しております。つきましては、校務ご多忙の折まことに恐縮とは存じますが、貴校職員の参加に格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

１　期　　日　　**令和７(2025)年８月17日（日）**
２　集合・出発　　JR茅野駅東口　※バスロータリー付近　**午前９時10分（時間厳守）**
３　踏 査 地　　長野県諏訪・山梨県釜無川流域方面（諏訪市・茅野市・北杜市・韮崎市）
４　テ ー マ　　八ヶ岳の縄文文化・諏訪大社の自然信仰・南アルプスの天然水利用～諏訪の「地位」と「位置」を歴史学・地政学的に探究する～
５　講　　師　　尖石縄文考古館学芸員・諏訪大社本宮職員
６　参 加 費　　８，０００円(現地バス費、資料費、入館料など)
　＊参加費に現地までの交通費と昼食費は含まれていません。入館料については参加人数により別途徴収の可能性があります。
７　申 込 み　　A　定　員　　２０名(先着順で定員になり次第締め切ります。１５名未満の場合は実施を見送る場合があります。その場合はご連絡致します。)
　B　締　切　　**７月２２日（火）**
　C　申込先(問合わせ先)　　事務局：川崎市立川崎高等学校　阿部　功嗣
　〒210-0806　川崎市川崎区中島３－３－１
　TEL０４４－２４４－４９８１　　FAX０４４－２１１－８２９５
　D　申込方法　裏面参照の上、Ｅメール(二次元コード利用)にてお申し込みください。
８　当日連絡先　　０９０－８４６５－０６９０（携帯）
９　踏査コース概略
　午前　9:10JR茅野駅東口→尖石縄文考古館→諏訪大社前宮・諏訪大社本宮　12：00頃～自由行動・各自昼食(諏訪大社本宮参道・諏訪市立博物館など)
　午後　13：00 諏訪大社本宮駐車場バス再集合→13:45 サントリー白州蒸留所(南アルプスの天然水工場見学※)→16:15 新府城跡→甲府駅(18:00頃解散予定)
　※コースは、交通・天候事情等により多少の変更もあります。予めご了承ください。
10　教科主任の先生へのお願い
　お手数ですが、裏面の「ご案内・申込書」をコピーして、参加希望者へお配りいただきますようお願いいたします。他教科の方でも参加可能です。

第 62 回　夏季県外史跡踏査のご案内

長野県諏訪・山梨県釜無川流域方面（諏訪市・茅野市・北杜市・韮崎市）

八ヶ岳の縄文文化・諏訪大社の自然信仰・南アルプスの天然水利用
～諏訪の「地位」と「位置」を歴史学・地政学的に探究する～

2025 年8月 17 日（日）　観光バス利用

午前　9:10JR 茅野駅東口→尖石縄文考古館→諏訪大社前宮・諏訪大社本宮　12：00 頃～自由行動・各自昼食(諏訪大社本宮参道・諏訪市立博物館など)

午後　13：00 諏訪大社本宮駐車場バス再集合→13:45 サントリー白州蒸留所(南アルプスの天然水工場見学※)→16:15 新府城跡→甲府駅(18:00 頃解散予定)

※コースは、交通・天候事情等により多少の変更もあります。予めご了承ください。

出発・解散　**ＪＲ茅野駅東口(バスロータリー)　午前９時１０分集合・出発**

※特急あずさ１号(7:30 八王子駅発)が 9:07 茅野駅着です。

ＪＲ甲府駅前　午後６時００分解散予定　※特急あずさ 50 号(18:35 甲府駅発)が 19:36 八王子駅着です。

参加費　８，０００円(現地バス費、資料費、入館料など)

※参加費に現地までの交通費と食費は含まれていません。

※入館料については、参加人数が少ない場合、別途徴収させていただきます。

講　師　尖石縄文考古館学芸員・諏訪大社本宮職員　※講師は決まり次第お知らせします

踏査地と内容

○**尖石縄文考古館**･･･**尖石・与助尾根遺跡【国特別史跡】**は、海抜 1000m 以上の八ヶ岳西麓広大な扇状地に位置する。昭和 4 年(1929)、伏見宮博英王の発掘を手伝ったことを機に、地元小学校教員だった宮坂英弐が 20 年以上に渡り調査し、のち藤森栄一ら多くの戦後考古学者の研究へと引き継がれ「縄文集落研究の原点」とされる。動物などを抽象した豪壮な装飾が特徴の中期の土器や「縄文ビーナス」として有名な土偶、復元された竪穴住居跡などが見学できる。

○**諏訪大社本宮**･･･祭神の建御名方は『古事記』国譲りの段で大国主の子として登場し、その御正体(依り代)・諏訪氏出身の大祝を現人神として尊崇する。そのため本殿はなく、結界を示す四隅の**御柱**に囲まれた境内には**東宝殿・西宝殿、幣殿・拝殿【重文】**・家康が寄進した**四脚門(勅使門)【重文】・硯石(磐座)**などがある。**法華寺**には吉良上野介外孫の**義周墓**がある。

○**諏訪大社前宮**･･･諏訪大明神第一の鎮座地で周辺は神原といわれ、諏訪信仰の様々な祭祀が行われた中心地存在だった。大祝の居館である**神殿跡【県史跡】、拝殿・内御玉殿、十間廊、諏訪頼重供養塔**(14 世紀)などがある。北西に位置する**神長官守矢史料館**には『紙本墨書守矢家文書』**【県宝】**155 点が収蔵され、諏訪信仰の歴史を残している。

○**サントリー白州蒸留所(天然水工場・蒸留所・貯蔵庫)**･･･白州は南アルプス山麓海抜 700m に位置し、冷涼な気候と花崗岩層から染み出す天然の軟水を生かした産業が盛ん。**白州蒸留所**は 1973 年に設立し、1977 年にはポットスチル 24 基、マッシュタン 4 基、ステンレス製ウォッシュバック 44 基を備え、世界最大級のモルトウイスキー蒸留所となった。※工場見学は２か月前からの完全予約・抽選制となっているため、天然水工場・ウイスキー蒸留所のどちらを見学できるかは未定。

○**新府城跡(本丸跡・新府藤武神社)**･･･**新府城【国史跡】**は釜無川・塩川の侵食により形成された七里岩台地上に立地する平山城で、**本曲輪・二の曲輪・三の曲輪**などの各所に丸馬出し・三日月堀・枡形虎口などの防御施設の遺構を残す。天正 9 年(1581)に穴山梅雪が武田勝頼に献策し、真田昌幸が普請奉行を務めたともいわれる。同年末に勝頼は躑躅ヶ崎館を出て新府城に拠点を移し織田家の侵攻に備えたが、翌年 3 月には未完成のまま城に火をかけ逃避することになった。廃城後、甲斐に入封した平岩親吉が本曲輪に**藤武神社**を再建し、平成 29 年(2017)には続日本の 100 名城に選ばれている。

申込方法　右の二次元コードを読み取り必要事項をご入力の上、E メールをお送りください。二次元コードを利用されない場合は、下記 E メールアドレスへ、①名前(ふりがな)②性別・年齢(保険加入のため)③勤務校等④連絡先(連絡の取りやすい電話番号)を入力し、件名を「**夏季史跡申込**」としてご送信ください。参加費は振込先口座へ振り込んでください。振り込み時点で申し込みは完了です。後日 E メール・電話・FAX などで事務局より申込完了のお知らせをいたします。

申込先(問合わせ先)　**川崎市立川崎高等学校　阿部 功嗣　(事務局)　7/22(火)締切**

E ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：kapu2016@yahoo.co.jp　TEL０４４－２４４－４９８１

振込先　**横浜銀行　戸塚支店　(店番号３５９)**

口座番号：普通・１８３１６３１　　名称：史跡踏査委員会

諸注意

※受付完了の先着順とし、定員になりしだい締め切らせていただきます。また、別途、振込み手数料がかかりますので、各自ご負担をお願いします。複数人分をまとめて振込む場合も「振込人」欄には全員のフルネームを入力してください。

※参加費の領収書は当日お渡し致しますが、事前に希望される方は事務局までお申し出ください。

※キャンセルにつきましては早めに上記申込先への連絡をお願いいたします。時期により全額返金できない場合もあります。